

2024年度第2回情報教育研究委員会情報専門教育分科会議事概要

I. 日 時：令和6年7月29日（月）17：00～19：00

II. 場 所：Zoom 会議室

III. 出席者：大原主査、藤田委員、北原委員、内山委員、金子委員、佐野委員、矢野委員、小田委員、高田^{トバ}伊^イ、
齋藤^{トバ}伊^イ、光井^{トバ}伊^イ（事務局）井端事務局長、野本

IV. 議事内容

1. プラットフォームの開発確認

- ・ 委員校で開発中の cluster 画面（World）について表示や動作などを確認した。
- ・ チームの配置について、cluster では、動画情報が一つの World には複数設定できないこと、同時入室 25 名などの制約が判明したことから、チームの入り口を掲載した Web ページを 1 枚作成し、そこに 5 チームの World のリンクを設定することにした。
- ・ World に掲載する学生からのマッチング情報には、氏名などの個人情報は控えることを確認した。

2. 参加する大学のチーム編成について

- ・ 帝京大学、静岡産業大学、久留米工業大学の学生が、cluster 環境を通じて「SDGs サイバーフォーラムコモンズ」での学びをマッチング試行実験として行うことを確認した。
- ・ 参加するチーム数は、帝京大学 1 チーム（3 名）、静岡産業大学 2 チーム（各 4 名）、久留米工業大学 2 チーム（各 4~5 名）を予定することにした。
- ・ World は 5 つ作成することにし、cluster の package ファイル（ひな形）を準備することで、チームごとのマッチング情報を掲載する段取りを想定することにした。なお、プロジェクトに情報を掲載するスキルの有無が課題となることから大学単位での相談を予定する。

3. メタバース利用ルールの徹底について

- ・ 活動に伴う心得を 5 分のビデオとして作成することになっている。
- ・ ポイントは、個人情報、成りすまし、情報の偽り、権利、機密情報の取扱いに配慮すること。
- ・ 個人情報の取扱いは、氏名、学生番号、メールなどを掲載せずに、チーム・プロジェクト名の利用を推奨し、相互の連絡手段はツールの強要はせずに相談の上に連絡手段を確立する。
- ・ プラットフォーム内での待機が可能な場合、掲示板（コメント）を利用して待ち合わせも可能なら考慮するが、その際にも個人情報は配慮する。
- ・ スライド 1 枚で 1 分の想定をし、400 字が 1 分の基準されており、ビデオ作成者に校正はお任せすることで確認した。
- ・ チームに偏りなくマッチングになるよう、参加の賛助会員企業に配慮を依頼する。
- ・ 成りすましは、他人のアカウント・アバターの使用を禁止する指摘で、違反对策は説明しないことにした。
- ・ 情報を偽らないことでは、信頼を失い、関係の悪化、孤立などの可能性が提示された。法的リスクの記述があったが、次の項目に含まれると判断した。
- ・ 著作権・知的財産権・個人情報取扱いの配慮は、知的財産権の管理部署との連携が重要となっており、パテントの登録や漏えいなどの注意を含め情報資産台帳として管理するなど、アイデアをどのように守るか、合意形成に望むかが重要となる。
- ・ 機密情報取扱いは、企業などでは情報資産の管理がルール化されており、クラウドの利用や意図しない情報漏えいの場面など配慮が必要となる。
- ・ 学生向けの 5 分でスライド資料を付けてビデオとして分かりやすいようにまとめることにした。

4. 今後のスケジュール

- ・ cluster のプラットフォームは 8 月中の完成を目指して進める。
- ・ 学生チームは 5 チームで進める。
- ・ 賛助会員の協力依頼は、9 月中旬までに事務局で別途進めることにした。
- ・ ルール徹底ビデオは、9 月中の完成を目指して進める。
- ・ マッチングは、10 月上旬から開始を予定し、それまでにマッチング情報を準備することにした。
- ・ 結果報告を 12 月に整理し、3 月の産学連携人材ニーズ交流会で意見交換することになっている。

V. その他(今後のスケジュール)

- ・ 次回の分科会は 9 月下旬に開催し、準備状況を確認することにした。